

仙台市急患センター・北部急患診療所外科部会勉強会で講演しました (2018/10/24)

テーマ：災害医学の基礎知識
 会場：ホテルメトロポリタン仙台（仙台, 日本）

2018年10月24日(水)に仙台市急患センター・北部急患診療所外科部会勉強会において、災害医学研究部門の江川新一教授が「災害医学の基礎知識」と題して教育講演を行いました。仙台市の救急医療を担っている医師会の外科系医師、仙台市健康福祉局などから薬30名が参加しました。

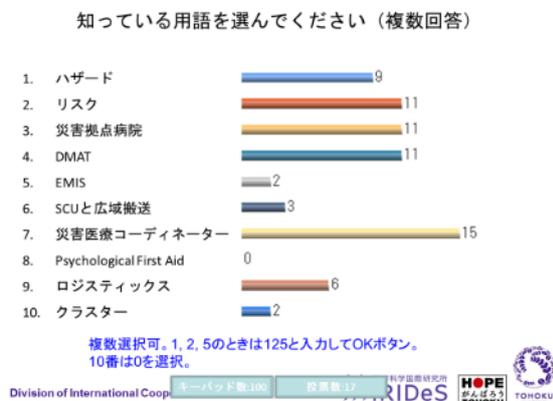
江川新一教授は、アンサーパッドによるリアルタイム集計システムを用いて聴講者との双方向性のやりとりをしながら、以下のような内容について講演しました。

1. 災害災害リスクって何？
2. 災害の教訓を知識に
3. わが国の災害医療体制
4. 東日本大震災の実際
5. 東日本大震災後の対応力強化
6. 仙台防災枠組

アイスブレイキングとして、アンサーパッドを用いた集計の利点と、操作に慣れてもらうための年齢層・性別・これまでに経験した災害や持っている災害関連の資格などを集計します。つぎにプレテストとして災害医療でよく用いられる用語について知っているかどうかを尋ねます。話題の区切りごとに、確認のための簡単な問題に答えてもらい、理解度を深めます。

講演の最後に、ポストテストとして、プレテストと同じ用語について理解したかどうかを尋ねて、講義全体の面白さを評価してもらいます。参加者はベテランの外科医が多い集団でしたが、興味をもって聴いていただき、ポストテストでは多くの項目の理解度が高まりました。講義についても高い評価が得られました。

災害医療は一部の専門家だけが行うものでも、またそれが可能でもありません。広く保健・医療に携わるすべての職種が連携しあいながら資源の少ないなかで最大限の効果を発揮しなくてはなりません。このような機会を利用して広く医療従事者への啓発を進めてまいります。



プレテスト



ポストテスト

文責：江川新一（災害医学研究部門）